

平成 21 年度 大田区区民協働推進会議（第四回）

次 第

平成 21 年 10 月 29 日（木）
18 時 30 分～20 時 30 分
本庁舎 教育委員会室

- 1 地域力・国際都市担当部長 あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 地域力応援基金助成事業・ステップアップ・ジャンプアップ助成の審査
 - (1) 資料確認
 - (2) 審査についての報告
 - ①書類審査（8 月 18 日（火）～9 月 8 日（火））
 - ②公開プレゼンテーション（10 月 17 日（土））
 - (3) 審議
- 4 第五回推進会議（11 月中～下旬 テーマについての審議）

開催日の調整
開催時間 18：30～20：30
- 5 その他

[出席者]

推進委員 7 名

地域振興部地域力・国際都市担当部長（区民協働担当課長）

区民協働担当 3 名

区民協働推進会議（第四回） 会議録

—ステップアップ・ジャンプアップ助成審査会—

事務局 区民協働推進会議を始めます。

担当課長 お忙しい中、ありがとうございます。本日は地域力応援基金助成事業のステップアップ・ジャンプアップ助成の審査となります。

事務局 それでは、始めます。

K委員 こんにちは 中国から帰ってきました。活気があふれていました。本日の審議よろしくお祈いします。

それでは早速ですが、平成 21 年度大田区地域力応援基金助成事業、ステップアップ・ジャンプアップ助成の審査を始めます。まず、事務局から資料の説明をお願いします。

事務局 資料の確認をお願いします。

机上配布分とすでに郵送で送らせていただいている資料があります。

— 資料確認 —

本日は地域力応援基金助成事業のステップアップ・ジャンプアップ助成の審査会となります。地域力応援基金助成事業は、寄附金を原資としています。

担当課長

—資料・審査状況の説明—

ステップアップ助成・ジャンプアップ助成審査について審議

…… 審査の内容は非公開とする。

▽次回の開催日調整

K委員 続いて第五回推進会議の日程についてですが、11月の16日（月）から30日（月）にかけて開催したいと思っておりますが、皆様のご都合のいい日を上げていただければと思います。ご予定はいかがですか？ 時間は、18:30～20:30です。審議内容は前回決まりました連携・協働の仕組みづくりについてです。よろしくお祈いします。

— 日程調整 —

では、次回は 11月26日（木）に開催します。

最後になりますが、その他ということで、皆様なにかご意見はありますか？

事務局 連携・協働の仕組みづくりについて資料などが必要かどうかお知らせください。

K委員 書式を決めてください。

事務局 わかりました。こちらからファックス等でご連絡させていただきます。

皆様、本日はありがとうございました。

担当課長 終了あいさつ

事務局 審査に関する資料はおいてお帰りください。

平成 21 年度 大田区区民協働推進会議（第五回）

次 第

平成 21 年 11 月 26 日（木）
18 時 30 分～20 時 30 分
本庁舎 教育委員会室

- 1 地域力・国際都市担当部長 あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 地域力応援基金ステップアップ・ジャンプアップ助成実施団体の決定について
（報告）
- 4 地域力応援基金スタートアップ助成（7 団体）の継続審査について
 - (1) 団体訪問及び経過確認（報告）
 - (2) 途中報告会の審査員選定
平成 22 年 1 月 31 日 9 時～12 時（NPO・区民活動フォーラムにて）
 - (3) 継続書類審査の審査員選定
審査期間（2 月 10 日（水）～2 月 17 日（水））
- 5 推進会議テーマ「連携・協働の仕組みづくり」の審議
- 6 第六回推進会議（2 月 22 日から 26 日開催予定）について
（スタートアップ助成継続審査とテーマについての審議を予定）
開催日の調整
開催時間 18：30～20：30
- 7 その他

[出席者]

推進委員	9 名
地域振興部地域力・国際都市担当部長（区民協働担当課長）	
区民協働担当	2 名

区民協働推進会議（第五回） 会議録

事務局 区民協働推進会議を始めます。今日は、連携・協働の仕組みづくりの討議の進め方についてと地域力応援基金助成事業の審査員を決めていただきたいと思います。それでは、まず地域力・国際都市担当部長竹村からあいさつさせていただきます。

担当課長 お忙しい中、ありがとうございます。地域力応援基金助成事業のステップアップ・ジャンプアップ助成のご審議ありがとうございました。先日区長決定がございました。後ほど詳しくご説明いたします。また、本日はテーマ「連携・協働の仕組みづくり」についてのご審議よろしくをお願いします。

事務局 それでは始めます。

K委員 5回目の推進会議です。基金は順調に進んでいると思います。面倒なことも多いですが、協力していただき、本日の審議よろしくをお願いします。

事務局 それでは、早速ですが、資料の確認をお願いします。

資料の確認

事務局から資料について説明いたします。

担当課長 説明をさせていただきます。

—資料の説明—

資料1は地域力応援基金助成事業ステップアップ・ジャンプアップ助成実施団体の決定です。審議の結果です。52団体申請、20団体プレゼンテーションに進み審査し、ステップアップ助成は9事業を採択いたしました。事業総額は1500万円です。

ジャンプアップ助成は1事業です。事業費は376万円です。

助成額は経費を事務局で精査いたしました。公表は12/11の区報です。

フォローアップについては採択団体には説明会を開きます。不採択団体には、希望があれば個別にご説明します。フォローをいたします。役所の内部にも団体の紹介をしていきます。

資料2はスタートアップ助成の団体訪問一覧です。委員の方に1から2団体の訪問をしてもらいました。委員の方から感想をお聞かせいただければと思います。評価もしています。

提案事項です。

1/31 スタートアップ助成の途中報告会3名の審査員をお願いしたい。

継続の書類審査2名をお願いしたい。書類審査は7団体分です。以上です。

K委員 それでは、主な議題は、テーマについてどのように審議を進めるかですが、先ほど事務局から提案のあった議題を先に審議していきたいと思います。

地域力応援基金助成事業（スタートアップ助成）継続審査についてです。団体訪問及び経過確認を行いました。参加していた委員は、4名です。継続審査（団体訪問及び経過確認）集計表にもとづいて、団体訪問及び経過確認の状況を簡単に説明いただければと思います。

スタートアップ助成：継続審査について
審査内容は非公開とする。

K委員 ありがとうございました。次に審査員の選定に移ります。

スタートアップ助成途中報告会の審査員3名です。1月31日、日曜日、9時～12時です。

担当課長 区民活動フォーラムの中で報告会をやります。

K委員 場所は区役所2階です。できる方は手を上げてください。3名委員です。

続いて、スタートアップ助成継続書類審査の2名です。

審査期間、2月10日（水）～2月17日（水）、最大7件分です。決まりました。よろしくをお願いします。

それでは、主題であるテーマに沿って審議を進めたいと思います。テーマは9月14日の第3回推進会議で「連携・協働の仕組みづくり」ということに決まりました。本日はまずどのように審議を進めていくかを話し合いたいと思います。審議の進め方について、事前に皆様からご意見をいただいています。各委員さんからそれぞれのご説明いただければと思います。よろしくをお願いします。

では、私から説明します。1 連携・協働の仕組みづくりの必要性を訴えること。2 大田区の協働の構想、方針、目標を学習確認する。3 どのように連携・協働の仕組みづくりをするか 4 仕組みづくりを困難にしている原因とは何か 5 スムーズに行う解決策とはなにかです。平素から交流をしておくのが大切。情報が沢山入ってくる。やれることからやっていく。事例がたくさんあります。

Q委員 「おおた未来プラン10年」の学習が必要です。職員と一緒に読み解きたいと思いますが、どこにいったらよいのかわかりません。

あるべき姿とは、長期と短期の展望、全体のプランに対する検証の取り組みが必要だと思います。

実践の活動について、場面ごとの問題点をピックアップする。

連携・協働の形について、いろいろな形がある。すでにスムーズに行っていない

い部分の検証をこの会議の中でやっていくべきかどうか？

特別出張所を中軸にしていくという気概がみえるが、具体的な展開をどんなふうに考えているのか？

K委員 おっしゃるとおりだと思います。実際にやっている人が気づくべきと思ってやってきました。やれることからやってきて、事例が沢山できている。「おおた未来プラン10年」でまとめがされた。16年前からやっていて、ずっと継続しているが…
よくわからないので、テーマをもとに戻しました。

I委員 大田区の団体の現状を知るのが大切だと思います。

問題を解決するにあたり、成功事例を参考にするのが良いと思います。

先週の産業フォーラムに参加。産業の問題は地域間で共有し、施策を考えている。同じようにしていくべきだと思います。大多数の団体のかかえている問題を共有する。必要とされる施策を考える。連携・協働の相手を具体的にリストに作成する。相手に交渉もしていく。継続的かつ増えていくよう取り組むべきだと思います。

N委員 大田区の特徴を活かす取り組みが必要。

大田ブランドが大事。事業をこの会議で決めてやっていったらどうかと思います。

K委員 企業が連携するのが大事だと思います。大田ブランドにはどんなものがありますか？

Q委員 こういうものがあります。

N委員 大田ブランドに認められるとロゴが使えます。

K委員 もっとこういう情報を広められないのかと思います。連携できないから広がらない。回覧でまわせばよい。簡単なこと。そういうことをどんどんやるべきだと思います。

H委員 審査はとても勉強になりました。いろいろな団体が仕事をしているのに感心しています。利用できるし、一緒に参加もしたい。善意をもって芽をそだてていきたいと思っています。審査はとても難しかった。団体の活動を検証するのが大事だと思います。テーマはやさしいものがよい。

K委員 テーマをもうけるとか、モデル地区を決めるとか、一から始めるとかを選択する方法があるかと思います。

O委員 連携・協働はとても難しい。勉強させていただいています。町会の立場からかわっていきたいと思っています。町会は高齢化で運営が難しい、役所の行事も多い。しかし何とか活動したいと思っています。役所からも細かい説明をしてほしいと思います。

担当課長 青少対での活動は、連携・協働をすでに実践していただいていると思います。

O委員 勉強させていただきたい。

J委員 区の担当が異動などで変わるたび連携が振り出しに戻ってしまう。アドバイザーが入ると良いと思いました。

L委員 一般的として考えましたので大田区に合うようにしてもらえれば良いと思います。連携・協働がどういうものか、具体的に見えてこない。

区の部課の担当者などにより認識が異なると思いますので、各部課の連携・協働の現状がわかる資料がほしい。昔からやっている部署もあると思います。

担当者から説明を。

テーマかモデル地区を設定し、大田区が取り組みやすい形でやっていくのがよいと思います。みなさんと議論して決めていきたいと思っています。

活動の報告の場として区民活動フォーラム。一般の人も集めて。

モデルの連携・協働の事業をやった後、必ず検証が必要です。第三者が評価することです。

P委員 具体的に進めていきたい。実働が伴うこと。特別出張所を中心として進めていけば実現可能。

学校の協力が必要。仕組みづくりをするために財政、税金などの学習が必要。

空き家の活用を具体的な活動としてやったらどうかと思います。

K委員 事務局でまとめたもの資料3の説明をお願いします。

担当課長 連携・協働の意義の大切さ。現状の把握。問題点。解決策。検証。このような進め方という提案です。今年度2月に1回、来年度審議は4回でまとめたと思っています。最終回は、まとめたものに対する文言整理があるので、審議は実質4回になります。

K委員 4回でまとめるということで大変ですね。

次回の予定ですが2月26日金曜日に開催します。

最後になりますが、その他ということで、皆様なにかご意見はありますか？

L委員 大田区の各部署で区民活動団体とどのような連携・協働が行われているのか、現状がわかる一覧表がほしい。

担当課長 今後の進め方ですが、資料3にもとづきスケジュールたてていただけると

K委員 2の現状把握に力をいれたい。

担当課長 2月は1と2の議論ということでよいですか？

K委員 これについて委員のみなさんも考えをメモしてきてください。

担当課長 資料の要望も言ってください。

皆様、本日はありがとうございました。

平成 21 年度 大田区区民協働推進会議（第六回）

次 第

平成 22 年 2 月 26 日（金）
18 時 30 分～20 時 30 分
本庁舎 教育委員会室

- 1 地域力・国際都市担当部長 あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 大田区自治会連合会からの要望についてのご報告
- 4 地域力応援基金スタートアップ助成（6 団体）の継続審査
(1) 団体訪問・途中報告会・継続書類審査結果確認
(2) 審議
- 5 推進会議テーマ「連携・協働の仕組みづくり」の審議
(1) 大田区と区民活動団体との連携協働に関する調査について
(2) 審議
- 6 平成 22 年度第一回推進会議について
開催日の調整（4 月 19 日（月）から 23 日（金）開催予定）
開催時間 18：30～20：30
- 7 その他

[出席者]

推進委員	8 名
地域振興部地域力・国際都市担当部長（区民協働担当課長）	
区民協働担当	3 名

区民協働推進会議（第六回） 会議録

事務局 区民協働推進会議を始めます。今日は、地域力応援基金助成事業継続審査と連携・協働の仕組みづくりの討議です。それでは、まず地域力・国際都市担当課長竹村からあいさつさせていただきます。

担当課長 お忙しい中、ありがとうございます。 一本日の議題の説明―

事務局 それでは会長からごあいさつをお願いします。

K委員 それでは、早速ですが平成 21 年度大田区地域力応援基金助成事業スタートアップ助成の継続審査を始めます。

スタートアップ助成事業継続審査について審議

…… 審査の内容は非公開とする。

K委員 それでは、次の議題に入っていきます。「連携・協働の仕組みづくり」についてですね。

区が取り組んでいる連携・協働の実例について調査をしていただけたようなので、簡単にご説明ください。

資料説明 ・ ・ 事務局から説明

Q委員 区が関与しない連携・協働の資料をだしました。

資料説明

K委員 ありがとうございます。今の活動は自治会・町会ともすべてタッチしています。小さいところから連携していくと大きな効果を生んでいくと思います。

L委員 この情報は、区のものに含まれていますか？

事務局 雪谷、環境などが含まれています。

Q委員 ホームページの区民活動団体データバンクは入り口がわからない。データ更新も遅い。区民の生活に根ざしたものができないかと思います。

L委員 小金井市もこれが連携だったのかと再確認を職員ができた。自治会・町会も役に立っていると思います。大田区はNPO法人が少ないのではないかと思います。

P委員 NPO法人の数は180以上です。

L委員 人口の割には少ないですね。NPO法人との連携が少ないと思います。町会・自治会との連携が多かったと思いました。連携のやりやすい部局もあるかと思っています。

担当課長 資料を見ると、特別出張所は自治会・町会との連携が多い。

L委員 ふれあいパーク活動にはNPO法人がありますね。

Q委員 管理する公園によりちがいます。

K委員 公園を自主管理することで、行政から下りてきたものです。地域により管理は違う。これになってから公園がきれいになり、コミュニティになりました。

担当課長 高齢者の介護予防とのつながりなどもできているようです。

L委員 経費はどうなっていますか？

K委員 公園の大きさで分けています。1400㎡以上は月1万円、それ以下は月3000円です。会計報告を年1度します。

L委員 区民活動は地域ごとにみていかないといけないですね。

K委員 うちが美郷町と交流しています。区とは関係なく、商店会から始まってやっています。美郷とのつながりは今では区の防災協定にまで広がりました。

L委員 区からの支援はありますか？

K委員 ないです。研修会に車一台が配車されます。夏に出かけますがみな自分もちです。

L委員 他の事業に支援はないのですか？

担当課長 ケースごとです。

J委員 エコフェスタは補助なしです。

L委員 自腹ですか？

J委員 はい

K委員 お金をかけなくてもできる事業もあます。火災報知機の購入のときは業者と交渉しました。

L委員 公園の管理は区でお金がないのでやらせたとも受け取れますね。

K委員 公園は地域のものだという意見です。

L委員 区にとってはありがたいですね。

P委員 それでうまくできるなら良いと思います。

担当課長 ふれあいパークは区からお願いし、公園がきれいになった。いい形です。

K委員 公園を自由に使えるメリットもあります。

L委員 外国人は日本には近所に小さな公園が沢山あるという。地域の人々の努力がありますね。

N委員 ただ公園のトイレが汚い。大森の公園で大きいのがあまり掃除されていない。

担当課長 業者の管理ですね。調べてみます。

K委員 500ほどの公園があり、一部をふれあいでやっています。

さて、駆け足でしたが、おおよその現状把握ができたのではないのでしょうか。次回以降、連携・協働を阻む問題点の洗い出しや解決策の検討を行っていく予定ですが、大田区の現状の中で、優れているもの欠けているものについて大まかに整理し、次回に繋げていければと思います。

それでは、皆さんいかがでしょうか。NPOについて、理解している人が少ないと思います。PRをして大いにやってもらいたいと思います。

P委員 NPO法人はまだ10年と歴史が浅いです。

K委員 少しずつ努力していく。協働ハンドブックはとっても良いと思います。

それでは、次回の日程ですが、4月20日火曜日に決まりました。

L委員 これらの事業の成果は、評価しないのですか？

担当課長 ケースによると思います。お金の清算時にやれると思います。

事務局 次年度につなげるため、反省会を含めそれぞれの部局でやっていると思います。

担当課長 ふれあいパークは年度ごとに調査している。

K委員 成果は挙げてもらっている。やりっぱなしはよくない。

事務局 資料を見ていただき、次回の論議を進めていきます。また、アンケートをとらせていただきます。

担当課長 材料はだしました。来年度のエッセンスを抽出してもらい、区の職員の意見等も読んでいただきご意見下さい。

K委員 審査資料はおいていきますか？

事務局 お願いします。

K委員 本日はありがとうございました。